

2018 年度地域連携室重点政策

2018 年 4 月 26 日地域連携室運営協議会承認

2017 年度までの到達点と課題を踏まえ、「地域に根差し、地域とともに歩む大学、短期大学づくり」の一環として地域貢献活動を促進し、学生募集にも貢献していくために、つぎのことに取り組む。

A 地域貢献活動実施のための環境整備に関する事項

(1) これまでの取り組み

- ① 2016 年 8 月地域連携室発足にあたり、従来の地域貢献活動について関係部局から出されることが多かった意見の集約やインシデント事例の検討などにより、起案文書決裁システムよりスムーズな承認を得ることができるシステムを構築
- ② ガイドラインによる申請，報告などシステムを整備（2016）
- ③ 地域貢献活動交流会による経験交流（2016）
- ④ キャッチコピー，イメージキャラクターの設置（2017）
- ⑤ 北九州市との包括連携協定の締結（2017）
- ⑥ 九州歯科大学と西南女学院大学との地域貢献活動における連携協力に関する協定書締結（2017）
- ⑦ 地域貢献活動が授業に重なる場合の取扱，チャペルと重なる場合の特例措置（2017）
- ⑧ 助成金の運用（2017）
- ⑨ 申請書の修正（2017）
- ⑩ 『地域活動論叢』刊行，ホームページ掲載（2018）

(2) 課題

- ① 学生が地域貢献活動の準備等を行うために使える部屋が必要である
- ② 地域貢献活動実施の学生，教職員との意見交換が不十分であり，運営に反映できていない部分がある
 - ・ 地域貢献活動実施教職員との意見交換の場である地域連携協議会を実施できていない
 - ・ 意見集約が室員任せになっている
 - ・ 地域貢献活動をガイドラインや申し合わせに沿って実施することのメリットが伝わっていない場合がある
 - ・ 地域貢献活動交流会や地域懇談会への参加（任意）にメリットを感じていただけていない場合がある
- ③ 地域貢献活動日の設定の検討が残されている

(3) 計画

A 1. 地域活動室（仮）の設置

A 2. 地域連携協議会の開催

A 3. 地域活動論叢への報告，講演録等掲載の意義を高める

A 4. 地域貢献活動が授業に重なる場合の取扱を申し合わせとして公開する

A 5. 地域貢献活動日の設定について関係部署と協議する

留意事項：進めるにあたり室員の意見を大切にす

B 地域連携室の組織強化と活性化に関する事項

(1) これまでの取り組み

- ① NPO と学生の交流会（2016）
- ② フードドライブキャンペーンへの参加（2017）
- ③ 地域連携室アドバイザー石丸美奈子様の就任（2017）
- ④ 地域連携室スタッフ（アルバイト）の配置（2017）
- ⑤ 女性活躍ワーキンググループの組織と運営（2017）
- ⑥ 子ども・子育て支援ワーキンググループの組織と運営（2017）
- ⑦ 地域連携室学生スタッフの公募（2018）
- ⑧ 地域連携室に伊東参事の就任（2018）

(2) 課題

- ① 室員の一部に負担がかかりやすい
- ② 学生スタッフが主体的に活動できるよう活動支援を行う

(3) 計画

B 1. 学生スタッフの育成

活動内容の相談と活動支援，活動の場の設定

B 2. 独自の活動（ワーキンググループ）の支援

円滑かつ継続的に取り組めるようニーズを把握し，環境整備を行う。

C 連携活動

(1) これまでの取り組み

- ① 「高齢者支援学Ⅰ」の開講と評価（2017）
- ② 独自のCOC+講演会（江川，関谷講演会）の実施（2017）
- ③ 3大学連携のCOC+講演会（久野講演会）の実施（2017）

(2) 課題

- ① 「高齢者支援学Ⅰ」の履修者が大幅に増えている
- ② 視察に関しては実現出来ていない

(3) 計画

C1. 「高齢者支援学Ⅰ」担当者のバックアップを行う

留意事項：独自の講演会や視察に関しては，必要性を十分吟味して実施する

3大学連携の公開講座（西日本工業大学）については大学として協力する
卒業生の動向を把握する

D 広報活動

(1) これまでの取り組み

- ① キャッチコピー，イメージキャラクターの設置（2017）
- ② パンフレットの作成（2017）
- ③ ホームページとブログの開設，運用（2017）
- ④ オープンキャンパスでの広報（2017）
- ⑤ クリアファイルの作成（2018）

(2) 課題

- ① オープンキャンパスでの協力依頼が義務と受け取られていた

(3) 計画

D1. 行事に参加した小中学生向けに西南女学院大学を紹介するパンフレットの作成

D2. パンフレット，クリアファイル以外のグッズ作成を学生スタッフのチカラで実施する